



高い互換性とコストメリットを実現。 Oracleからの移行が最も容易なRDBMSとは

企業内のシステムや自社でITサービスを展開する企業など、その多くでDBが活用されています。しかし、オンプレミ ス環境でのシステム運用や、近年増加傾向である仮想化環境・クラウド環境での運用において、そのライセンス費用 や保守費用が膨れ上がるケースも少なくありません。

TmaxSoft社が提供するTiberoは、OracleなどのDBからの移行において、極めて高い互換性を発揮。さらに、 Oracle DBと比較して、ライセンス費用や保守費用も大きく削減できるとして注目を集めています。

▋ ライセンスと保守費用

Oracle DBは、ライセンスが高価であるの に加えて、年間の保守費用も毎年増加する 体系になっている

DBに関するコストの課題



2 仮想化環境の利用

Oracle DBでは未使用コアも含めたライセ ンス費用が発生するため、無駄が生じてコ ストアップにつながってしまう



🖁 ライセンス体系

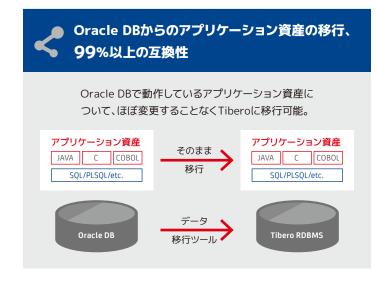
Oracle Standard Edition Oneの販売完了 に伴い、上位ライセンスを利用せざるを得 ず、コスト増になってしまう

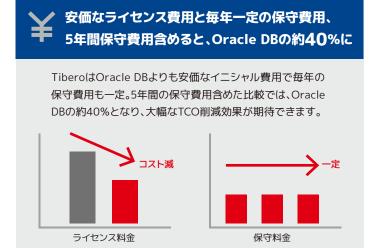
TIBERO

DataBase

Tiberoなら、

移行への高い互換性とTCOの削減を実現します!



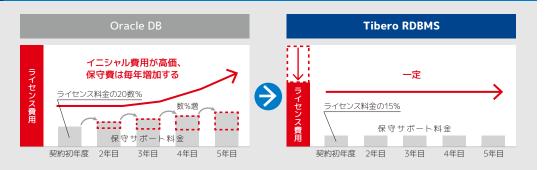


Oracle DB vs Tibero RDBMS 徹底比較!

1 ライセンス・保守料金比較

Oracleはイニシャルが高価で保守費用も毎年増加、Tiberoはライセンス費用も安価で保守費用も一定

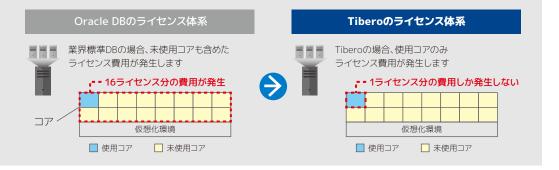
Tiberoは、イニシャルのライセンス費用をOracle DBのライセンス費用の約60%でご提供しています。また、年間の保守費用についてもOracle DBは毎年増加するのに比べて、Tiberoは年間の保守費用が一定の価格でご提供しています。5年間の保守費含め費用はOracle DBの約40%と、大幅にコスト削減が実現できます。



2 仮想化環境のライセンス比較

Oracleは未使用コアを含めたライセンス料金が発生、Tiberoは使用コアライセンスのみ料金が発生

Oracle DBでは、仮想化環境で利用する場合、未使用コアも含めたライセンス費用が発生します。しかしTiberoは、使用した分のコアのみライセンス費用が発生するため、ライセンス費用を効率的に安く抑えることが可能です。Tiberoは仮想化環境でのDB活用やクラウド環境に適したライセンス体系でご提供しています。

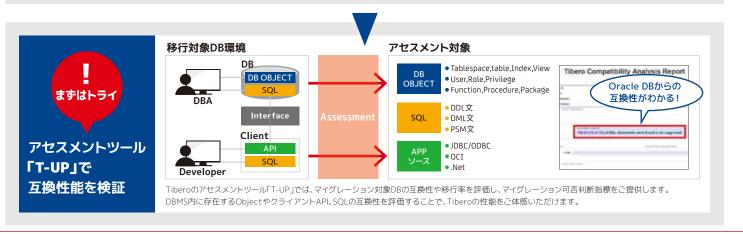


🖁 ライセンス体系比較

Oracleのエントリーレベルのライセンスが販売終了、Tiberoにはそれに準じるライセンスを用意

Oracle DBのライセンス体系や価格変更に伴って、Standard Edition ONEは販売完了に、Standard Editionは最大CPUのソケット数が減少するなど、ユーザにとってコストアップへの懸念が生じています。一方Tiberoは、Standard Edition ONEユーザに対応したエントリーレベルのライセンスをご用意しております。また、Standard EditionにおいてTiberoは、最小5ユーザライセンスから購入ができ、お客様のビジネス環境に合った導入が可能です。

	TiberoRDBMS ライセンス費用	Oracle DB ライセンス費用
Enterprise Edition	¥3,356,000-	¥5,700,000-
Standard Edition	¥1,236,000-	¥2,100,000-
Standard Edition Lite	¥410,000-	販売終了





株式会社ユニリタプラス

541-0059 大阪府大阪市中央区博労町 3 丁目 6

TEL 06-6245-4595

https://www.uniritaplus.co.jp/

日本ティーマックスソフト株式会社

108-0014 東京都港区芝4-13-4 田町第16藤島ビル4階

TEL 03-5765-2550

http://www.tmaxsoft.co.jp/